

シグマ研究委員会 ファイル作成グループ会合議事録

日 時 : 昭和60年5月17日(金) 13:30~17:30

場 所 : 原研本部 喫食室

出席者 : 吉田 (NAIG), 奥田 (住友原工), 五十嵐, 中川, 浅見 (原研)

配布資料

1. 前回 (60. 3. 20) 議事録 (案)
2. ファイル作成グループの作業 (案)
3. JENDL-3 データ評価者一覧表 (FP核種は除く)
4. Decay Data ファイル化に関する資料
5. Decay Data の ENDF/Bフォーマット資料

議 事

1. 前回議事録確認

資料1により確認を行った。なお、これに関連して、中川氏からGASKETの out put (13種類) は ENDF/A フォーマットになっているので、 ENDF/B フォーマットへの変換が必要であるとの説明があった。

2. ファイル作成グループの作業内容

前回の議論にもとづき、資料2により浅見氏から作業(案)の説明があった。これに関し、ファイル作業の外注の可能性、どこまで面倒を見るか、ファイルのチェックのやり方等が話合われ、ファイル作成手順を図に書いて確認することにした。

3. JENDL-3 評価作業の進捗状況

浅見氏から資料3の評価者一覧表について、前回配布したものから修正した部分について説明があった。これに関連して、最近の情報、問題点等について話し合いを行った。それをもとに、次回までに一覧表を修正するとともに、評価者の分担部分の詳細がわかるように作り直すことにした。NAIGの評価者への連絡は吉田氏、水本氏(原研)へは中川氏が、²⁰⁹Biについては奥田氏が連絡をとることにした。中島氏(原研)が関係している Task Force の Fe,

²³⁸Uについてはその情報が評価者に渡るよう配慮することにした。なお、FPのデータはJENDL-2のものでよいとの意見もあったが、この件については、6月7日のFP核データWGで討議されることとなった。重核については5月29日のサブWGで評価担当者を確認する由であった。ガンマ線生成核データのベンチマークテストについてどんなテストが可能であるか等が話合われ、エネルギーバランスのテストは必要であるとの意見が出た。

4. ファイル化手順の検討

(1) Fission Yield データ：吉田氏から資料3.4により、JNDC FP Decay Fileの内容およびファイル化についての説明があった。その後の討議の結果、Fission Yield, Decay データについてはJNDC FileからENDF/B-Vフォーマットに変換することにし、このファイル化については中川氏が井原氏(原研)に相談してみることにした。また、line spectrum の取扱いについては問題があるので更に検討することにした。

(2) ガンマ線生成核データ
次回に廻すことにした。

(3) GNASH, CASTHYからのガンマ線のスペクトルデータ
連続スペクトル、離散スペクトルの取扱いについて討議を行い、ファイル化はMF=12の方が良く、MF=13では困るとの意見であったが、この件については5月31日に関係者の間で議論することになっているので、次回にその結論を聞いた上で討議することにした。

5. 処理コード類の検討

ENDF/B-VIのフォーマットの資料を次回までに配布して、次回に中川氏に説明してもらうことにした。

6. データ集作成の検討

角分布のプロットについて、浅見氏が次回にサンプルを示し検討することにした。

次回は6月末か7月上旬とすることにした。